

映像とインターネットを活用した、 光ブロードバンド時代の新たな 教育・研修ソリューションを提供

「コンテンツとコミュニケーションの総合力」をコアコンピタンスに、教育・研修、映像制作、インターネットの3つを軸に事業を展開するNTTラーニングシステムズ。ここでは、コミュニケーションを重視した「教育・研修コンテンツ」を光ブロードバンドによる映像通信やインターネット、モバイルなどを活用した新たなサービスへの取組みを紹介する。

技術力と創造力を活かし、お客様が 求める最適なソリューションを提供

新たなコミュニケーション技法の開発が企業の成長を左右する光ブロードバンド・ユビキタス時代。ITと総称される幾多の課題を解決するには、様々なノウハウと、多角的アプローチが必要とされている。

企業向け総合教育事業会社として設立されたNTTラーニングシステムズ（以下、NTTLS）は、「コンテンツとコミュニケーションの総合」というテーマをビジネスコンセプトに掲げ、時代の潮流、ニーズの多様化に対応するために、映像制作事業、インターネット事業へと事業領域の拡大をしてきた。

NTTLSの経営理念について、飯塚 久夫代表取締役社長は、次のように語っている。「『コンテンツとコミュニケーションを総合し、知恵と情熱でお客様と社会のお役に立ちます』を経営理念として掲げ、教育・研修、映像制作、インターネットの3つを事業の柱に、3事業のシナジーを活かし、光ブロードバンド時代に求められるトータルソリューショ

ンを提供しています。『技術力と創造力』を活かし、お客様が求める最適なソリューションをご提供いたします。」

ネットワークとコンテンツを上手に 結びつけたクロスメディアを提供

NTTLSが最も得意な分野であるネットワークとコンテンツの両サイドに立ち、それを結びつけたクロスメディアにメディア変換、そのメディアにふさわしい形式にコンテンツを編集・加工し、お客様へ提供する。その時に、さらなる付加価値として、課金や認証の機能を必要に応じて付け加え、サービスとして提供する。

その具体例として、飯塚 久夫社長は、「昨年10月からトライアルを開始した携帯端末向け絵本配信サービス『ふあんだ時間』があります。このサービスは、音声と映像で楽しむ、IT時代の新たな形の絵本です。人と人との間の情感を伴ったコミュニケーションが希薄になっている昨今、絵本を読むこと、読み聞かせてもらうことで人間にとって何よりも大切な『想像力』を育むことができ



NTTラーニングシステムズ(株)
代表取締役社長 飯塚 久夫氏

ます。教育事業を根幹に据えているNTTLSは、社会の抱えている問題解決にもお役に立つようなサービスをご提供していきたいと考えています。」と語る。

2007年度は、光ブロードバンドを活用 したリアルタイム型eラーニングに注力

市場の成熟化、ニーズの多様化・複雑化に伴い、企業が提供する製品・サービスはますます高度化・多様化している。

「eラーニングの望ましい形は、仕事をやりながら、その場で疑問や課題を解決し、自分自身がより高いレベルに学習できるための効率的、継続的な教育ソリューションです。NTTLSは、これを実現する双方向学習システム『MICE（マイス）』を開発し、お客様にご提供しています。」と、飯塚 久夫社長は語る。

総合研修事業部

映像とインターネット技術を活用した 光ブロードバンド時代の 新たな教育・研修ソリューションを提供

光ブロードバンド時代の教育・研修ソリューション「ブレンディッドラーニング」

NTTLSの総合研修事業部は、ブロードバンドの優位点を活かした「ブレンディッドラーニング」のワンストップサービス体制とeラーニングソリューションを提供している。

ブレンディッドラーニングとは、eラーニング+集合研修・通信教育のブレンド型研修。「人々が相互に刺激・影響しあって学ぶ」効果があり、知識を深耕させる実習やディスカッションには最適な集合研修と、「時間と場所の制約がない」「個々人のレベルに合わせた学習ができる」「短期間で多くの受講生を教育することができる」eラーニングの「いいとこどり」をした教育・研修ソリューションである。

双方向・ライブ型eラーニングソリューション「MICE」を提供

「MICE（マイス；Multifunctional Interactive Creative E-learning system）」は、eラーニングと集合研修の良い面を合わせ持った、新たな遠隔研修プラットフォーム。「MICE」を活用した研修では、NTT東日本・NTT西日本が提供するBフレッツを利用することにより、講義は大画面高画質の映像と双方向性の確保で、

臨場感を提供。ツール（アンケート・集計機能、チャット機能、会話機能）の活用により受講者の理解度に基づいたリアルタイムなフィードバックが可能だ。現場の業務繁忙対応と待ったなしの能力開発を同時並行的に実現し、大量の人材を一気にスキルアップする教育ソリューションである。

NTTLSは、「MICE」のプラットフォームを提供し、教育プログラムの企画、コンテンツ作り、研修実施オペレーション、他の研修との最適な組み合わせなどのサービスをワンストップで提供している。

業務改善コンサルティングと業務マニュアル制作の2つのソリューションを提供

NTTLSでは、業務プロセスの改善などのコンサルティングや業務マニュアル制作も積極的に展開している。「業務フローのあるべき姿」を業務改善の視点からアプローチし、企業内の業務ノウハウを蓄積させ、高品質・高付加価値を生み出せる仕組みづくり、研修カリキュラムまでを一括して提案する事業モデルを展開している。



図1 総合研修事業部のソリューションイメージ

情報セキュリティと環境・CSRマネジメントコンサルティングを提供

企業の情報セキュリティを強固にするためには、人的・組織的なマネジメントが重要である。

NTTLSでは情報セキュリティについての啓発・技術習得研修から、ISO27001認証取得、プライバシーマーク認定取得支援、運用状況の監査などのサービスをワンストップで提供している。さらに、ISO14001、ITガバナンス強化・ITサービス品質改善のためのツールとして注目されているISO20000など、CSRに係る各種マネジメントシステムについても同様に展開している。

お問い合わせ先

NTTラーニングシステムズ株式会社
総合研修事業部
TEL (03) 3440-1512
研修サービスの詳細・申込は
教育ポータルサイト LearningSite21 から
URL : <http://www.learningsite21.com/>

インターネット事業部

携帯端末向け絵本配信サービス「ふあんだ時間」と キッズ英語で人気の 携帯公式サイト「CatChat ABC」を提供

業界初、ネット配信による 携帯端末向け絵本コンテンツの提供

NTTLSのインターネット事業部は、iPod・PSP・ニンテンドーDS・W-ZERO3向けに、音声と映像で楽しむ絵本コンテンツを配信するサイト「ふあんだ時間」(<http://fantajikan.jp/>)のトライアル提供を2006年10月8日より開始した(図1参照)。

ネット配信されるコンテンツは、動画(映像+音声)6作品、音声(ポッドキャスト)20作品。第1回配信『てぶくろを買いに』(新美南吉作)は、青空文庫の名作童話にイラストレータによる表現豊かな絵と声優による情感溢れるナレーションを付加した絵本コンテンツからスタート。続いて、「注文の多い料理店」(宮沢賢治作)や「ごん



図1 携帯端末に絵本を収納
持ち運び自由な本棚を実現

ぎつね」(新美南吉作)、グリム童話など順次追加する。

本サービスの特長は、名作童話に音声と映像を付加した絵本コンテンツをインターネットを介してダウンロードし、携帯端末で、場所や時間を選ばず大人も子供も楽しむことができることである。絵本を読むこと、読み聞かせてもらうことで、リフレッシュ、人間にとって何よりも大切な「想像力」を育む。

現在は、固定のユーザー数が、1万五千人を越えた。今後は、本サービス化を視野に、3.5G携帯電話向けへの配信も検討していく。

楽しいストーリーと魅力的な キャラクターで楽しく遊んで 英語が好きになるコンテンツを提供

未来を担う子供たちの国際理解と情報活用を応援するスペシャルプロジェクトとしてスタートした(株)TBSテレビのCatChatプロジェクト。BSデジタル放送(BS-i)番組「CatChat えいごでFRIENDS DX」を中心に、インターネット、雑誌、DVD、玩具など、幅広いメディアに向けてコンテンツを発信し、子供たちに英語が楽しく学べる環境と、コミュニケーション能力の育成機会を提供している。

このプロジェクトの中で、NTTLSは、携帯公式サイト「CatChat ABC」のコンテンツ制作と配信を担当した(図2参照)。

携帯電話サ
イトとして

は、業界初となる「親子登録」という新しい課金機能を開発。親と子が安心して楽しめるモバイルコンテンツとして2006年8月からサービスを開始した。

また、児童英検に対応した模試コーナーでは、動画や音声技術を駆使。児童英検独特の問題形式を満たし、いつでもどこでも気軽に練習問題にチャレンジできる。さらに、メディアミックスの特長を利用し、雑誌「たのしい幼稚園」との連動で、ネイティブの英語が手軽に聞ける。

今後NTTLSでは、パーソナライズを実現する端末として、携帯電話を活用したサービスを展開していく。



図2 CatChat ABCの
携帯公式サイト

お問い合わせ先

NTTラーニングシステムズ株式会社
インターネット事業部
TEL (03) 5440-4217

映像制作事業部

注視点の軌跡や注目度を評価する 感性計測技術による新たなビジネスへの取り組み

感性計測技術を活用し 動画映像コンテンツの 評価ソリューションを提供

NTTLSの映像制作事業部は、新規事業として、2006年10月に、映像・Webコンテンツの「感性計測技術」の特許を保有する(株)VIS総研に経営参加（資本出資）し、世界初の感性計測技術で動画映像コンテンツの評価や教育研修などの取組みを開始した。

従来から、人が興味を持ったものを見ている時に、「目が輝いている」と言うことがある。これは瞬きをせずにもものを見ているので、「目がぎらぎらして見える」ことの表現と言える。

この現象を、科学的に探求して、最近の計測技術とコンピュータによる解析技術の進歩により、目の動きを計測し、映像を見ている人の視点の軌跡と注目度、興味・関心度等の感性度を、見ている映像の時間経過と共に数値として表現できるようになった。これを、「感性計測」と呼ぶ。

以前から「視

点」(見ている個所)の動きを捕らえる技術は存在していたが、このシステムは、視点の軌跡に加えて、瞳孔の動きや、瞬目頻度のデータを解析することにより、映像を見ている人が、映像の何処を見て、どの程度の興味・関心を持っているかを計測できる世界初のシステムである。

従来できなかった コンテンツの評価が可能に

映画、TV映像の場合は、この感性計測のデータを加味することで、従来できなかった映像のきめ細かな評価が可能になる。

Webコンテンツの場合は、従来はログ解析だけの評価であったが、Webページ上での視点の軌跡と注目点、視点の滞留点、カーソルの軌跡を独自開発した技術で、ビジュアルなマーキングによる記録表示で分かる。これにより、Webページの

制作者の意図したとおりに見られていることを確認できる。

自動車の安全運転で効果を発揮

自動車運転シミュレータにおいて信号、前後左右の車、停車中の車、交差点の信号、歩行者等にフロントガラス、バックミラー、フェンダーミラー等を通して、どのように視点が動き、どの部分にどのくらい注目しているかを計測し、その結果の記録を見ることにより、その人の安全運転のレベルが判定できる(図1参照)。このシステムの応用として、各種の点検(安全管理、品質管理)にも適用の可能性がある。

このように、様々な用途での利用が考えられる感性計測技術。今後この感性計測システムを利用した、感性の中の好感度、嫌悪感度、理解度等の計測を研究継続中である。

また、感性計測システムをユーザーへの紹介・利用促進はもとより、用途開発や共同研究に関してのパートナーを求めている。

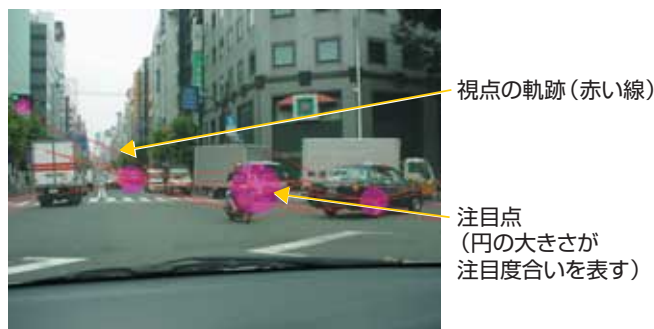


図1 自動車運転時の視点の軌跡と注目度

お問い合わせ先

NTTラーニングシステムズ株式会社
映像制作事業部
TEL (03) 5440-5531